

生ごみ処理容器「キエーロ」とは？

大き目の木箱に黒土を入れ、透明の屋根を斜めにつけた形で、バクテリアと土の力で生ごみを分解させ処理する容器です。



キエーロの特徴

従来の生ごみ処理容器では、虫が湧くから、臭いが気になる、ということがありましたが、このキエーロは、正しく使用すれば、臭わない、虫が湧かない、生ごみが完全に消滅する、土の量が増えないといったメリットがあります。また、ベランダなどのコンクリート上にも置くことができます。

生ごみがなぜ消滅するのか？

土の量が多いため、土の中の微生物が活発に働き、生ごみを分解するため、土に生ごみを混ぜ込むだけで消滅します。

キエーロの使い方

- ・なるべく日当たりがよく、風通しの良い場所に設置する。(微生物の働きを良くするため)
- ・20cm くらいの穴を掘り、生ごみを入れる。穴が浅いと生ごみの臭いや虫が湧く原因となる。
- ・生ごみと土をよく混ぜる。土と見分けがつかなくなるまでよく混ぜる。
- ・乾いた土をかぶせる。表面の土が乾いていることで、臭いを防止し、虫の発生を防ぐ。

キエーロの実証実験

市ではキエーロ普及啓発事業として、市内の消費者グループに委託をして、キエーロの実証実験を行っていただいております。

平成 26 年度は 20 名のモニターさんにご協力いただき、約 1. 6 トンの生ごみが消滅しました。

平成 27 年度は 22 名のモニターさんにご協力いただき、約 1. 2 トンの生ごみが消滅しました。

市ではごみ減量化を推進していくため、
生ごみ処理容器「キエーロ」の普及啓発活動を推進していきます。